



曹候・自候採用予定者 新隊員教育隊訓練見学

東京地本募集課は、2月15日、一般曹候補生・自衛官候補生採用予定者に対し、朝霞駐屯地に所在する第1施設大隊の協力を得て、新隊員後期教育隊の訓練見学を実施した。

本見学は、採用予定者に対し、入隊から半年経過した新隊員たちの姿を見てもらい、半年後の自分の姿をイメージしてもらうとともに、入隊に対する不安の解消、入隊意欲の向上を図るため企画したものである。

新隊員後期教育は、29年12月2日から30年2月25日の間で行われており、教育修了間近のこの日、採用予定者164名及び保護者14名の計178名が施設基礎作業である連結訓練の練度判定を見学した。連結とは、丸太と丸太を結び綱等により組み合わせる技術の一つで、施設科隊員として障害構築や木工作業する上で必要とされている。

教官の指導のもと、新隊員11名は、助教等の指示等に従い、はつらつと復命・復唱した後、様々な連結要領を反復演練し、練度判定を受けていた。

見学した参加者からは、「テキパキと行動していて格好いい。」「入隊が待ち遠しい。」等の感想を述べていた。

募集課は、今後も厳しい募集環境が続く中で、1人でも多くの入隊者を確保するため、陸海空の部隊見学を積極的に行い、入隊意欲の向上を図っていくとしている。



東京地本長がラジオ出演し自衛隊をPR

本部長 楠見晋一陸将補は、2月28日、東京都江東区のコミュニティラジオ局、レインボータウンFMの朝番組「大江戸ワイドスーパーモーニング」に出演した。

当番組は、レインボータウンFM放送株式会社社長 小嶋映治氏（募集相談員）のご好意により、平成21年度から定期的に東京地本の隊員が出演させていただいており、本部長の出演は約6年ぶりである。

放送は、本部長・東京地本の紹介から始まり、高校生の時、学校で実施された説明会での話から自衛隊に興味を持ち防衛大学の門を叩いたこと、幹部学校での勉強内容や広告代理店（電通PR）での1年間の勤務、陸上幕僚監部勤務時代のイラク派遣準備や陸上幕僚長副官時代の経験、初めての指揮官職となった第12ヘリ隊長時、隊員・家族を預かる緊張感と隊員が無事に飛行任務から帰って来るように常に気をかけていたことや、防衛大学教授時代のエピソードを発信し、自衛隊をPRした。

また、終盤にはパーソナリティの方から奥様に関する質問も飛び出すなど、内容盛り沢山の30分となった。

放送の最後には、平成29年度の自衛官候補生募集のラストスパートとして3月の採用試験について告知したほか、情報満載の東京地本ホームページ、特典・特別イベント多数のメルマガ会員の案内を実施した。

